

Skip UP!

2012年11月 2日

発行責任者 森川 学

NO. 15

編集責任者 情 宣 部

2012年度 年末手当

第3回交渉報告

中央本部は、本日14時30分より第3回年末手当交渉を行いました。今回は要求の根拠を明らかにしました。

要求の根拠として・・・

昨年よりも輸送量、収入が拡大しており、支払能力は十分にある。モチベーションを高める必要がある。

公共料金や健康保険料の値上げや消費税増税など生活はますます苦しくなっている。この間、輸送障害や厳しい経営を支えてきた組合員に見える形で報いるべきである。

それに対し会社は・・・

輸送量、収入は対前年比では上回っているが、対計画では下回っている。中間決算は赤字の見通しである。引き続き黒字の達成に努力する。社員の努力は認識している。社員のモチベーション向上を考えたいが、経営状況による。

年末手当は生活給である主張は分かるが、業績給の要素が大きい。経営が判断材料になる。

経営陣に危機感が全くない（怒）！

毎日のように起きている輸送障害に現場で働く組合員は必死に商品である列車を遅れさせないように努力している。経営陣の方が危機感が無い！昨日の輸送障害で現場の多くの組合員がしんどい思いをして列車を運行させている。その時、会社経営陣は何をしていたのか？危機感も緊張感もない経営陣の姿勢を糾せ！

と会社姿勢に対し厳しく指摘しました。

**無責任な経営姿勢を絶対に許さず
全青年部員でたたかいをつくり出そう！！**